様式1

雇用管理の改善及び事業の合理化措置計画認定申請書

年　月　日

北海道知事　様

住　　所:
名　　称:
代表者氏名:

次のとおり、改善措置計画の認定を申請します。

記

1 改善措置計画

実施期間	年　月1日　～　年　月　日			
計画の対象となる事業所	事業所の名称	住　所	電 話	雇用管理者の職・氏名
		〒		
		〒		
		〒		
		〒		
		〒		

		雇用管理の改善		事業の合理化
取り組む改善措置（該当する項目に○を付ける）		雇用の安定化		事業量の安定的確保
		労働条件の改善		生産性の向上
		募集・採用の改善		林業従事者のキャリア形成支援
		教育訓練の充実		そ　の　他
		高年齢従事者の活躍の推進		
		女性従事者等の活躍の促進		
		労働安全衛生の改善		
		そ　の　他		
計画書	別添様式2のとおり			

2 組織の概要

営業内容（該当するものを○で囲む）	素材生産業 ・ 造林業 ・ 山林種苗の生産 ・ 製材業 ・ 木材流通業 土木建築業 ・ 造園業 ・ その他（　　）			
営業組織（該当するものを○で囲む）	株式会社 ・ 有限会社 ・ その他の会社 ・ 森林組合 ・ 協同組合 その他の法人 ・ 個人 ・ その他（　　）			
設立年月日	明・大・昭・平・令　　年　月　日 設立	営業年数	年	
資本金（出資金）	万円			
北海道以外の営業区域	（都道府県名）			
林業従事者数※1	人	（ 左記のうち、年間6ヶ月以上雇用 ）	人	
登録・認定状況等※2	北海道林業事業体登録制度	登録番号:		
	その他（　　）			
登記事項証明書の写し	別添のとおり			
納税証明書の写し	別添のとおり			

（留意事項）

※1 林業従事者数は、林業（造林、保育、伐採、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等）の現場作業に従事する雇用者の数を記載すること。

※2 登録・認定状況等には、業界団体等が実施する登録制度等の登録状況を記載すること。

3 その他添付資料

雇用に関する文書の写し	別添のとおり
就業規則の写し	別添のとおり
技術・技能を証する書類の写し（年間6ヶ月以上雇用の技能者に係るもの）	別添のとおり

様式2

改善措置計画書

事業者名	

Ⅰ 林業従事者の確保の計画

区　分	現状※1 (a)	退職等の見込み※2 (b)		採用計画(下位区分からの異動を含む) 1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計(c)	5年後の姿 (a-b+c)
通年雇用										
年間6ヶ月以上雇用			( )							
年間6ヶ月未満雇用			( )							
合　計			( )							

(留意事項)

※1 現状欄については、Ⅱの林業従事者数と整合すること。

※2 退職等の見込みについては、( )内に上位区分への異動者数を内数で記載すること。

Ⅱ 雇用管理及び事業の現状

林業施業の実績が1年未満に該当の有無※1	有　・　無　　(どちらかに○)

事業期間(前会計年度)	年　月　～　年　月											
区　分	林業							林業関連※3	その他	計		
	素材生産		造林		その他林業※2							
現場作業従事者 通年雇用	人		人		人			人	人	人		
現場作業従事者 年間6ヶ月以上雇用	人		人		人			人	人	人		
現場作業従事者 年間6ヶ月未満雇用	人		人		人			人	人	人		
計	人		人		人			人	人	人		
事業量	主伐	m³	植付	ha								
	間伐	m³	下刈	ha								
	計	m³	その他	ha								
売上高	千円		千円		千円			千円	千円	千円		

労働時間の定め	1日当たり　　時間　・　1週当たり　　時間　・　定めなし									
定休日の定め	完全週休2日制　・　変形週休2日制　・　週休1日制　・　不定期　・　定めなし									
技能者の在籍状況 (年間6ヶ月以上雇用者のみ記載)	フォレストリーダー(FL)		人　・　フォレストマネージャー(FM)		人					
	1級林業技能士		人　・　2級林業技能士		人					
	合計技能者数※4		人	＝	在籍割合※5 (自動計算)		%			
	年間6ヶ月以上雇用の林業従事者数(自動入力)		人							
技能者に係る処遇改善措置の実施内容 (実施済みの場合のみ記載)										
賃金契約の状況	月給制		人　・　日給制		人　・　出来高制		人			
	月給出来高併用		人　・　日給出来高併用		人					
社会保険の加入状況	健康保険		人　・　厚生年金		人　・　労災保険		人　・　雇用保険		人	
退職金共済の状況	中退共		人　・　林退共		人　・　建退共		人			
	独自制度		人　・　定めなし		人					
福利厚生の状況	社　宅 ・ 休憩施設 ・ シャワー施設 ・ その他の福利厚生施設 慰安旅行 ・ 慶弔見舞金制度 ・ 被服貸与制度 ・ その他の福利厚生									

(留意事項)

※1 林業施業の実績が1年未満で共同申請を行う事業主は、前会計年度の実績の記載は不要とする。

※2 その他林業には、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等の現場作業について記載すること。

※3 林業関連には、特用林産物の生産、木材木製品製造業、土木業のうち治山、林道の施工、緑化・造園業、森林レクリエーションその他について記載すること。

※4 合計技能者数には、同一人物が複数の区分に該当する場合であっても、重複を除いた実人数を記載すること。

※5 在籍割合 = 合計技能者数(FL・FM・(1級・2級)林業技能士の実人数) ÷ 年間6ヶ月以上雇用の林業従事者数

過去5年間の労働災害の発生件数 (休業4日以上、死亡災害)	年	年	年	年	年
	件	件	件	件	件

【現状の課題・問題点】

Ⅲ 改善措置の目標、内容及び実施時期

1 雇用管理の改善

項　目		現　状	目　標	改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
雇用の安定化	雇用管理者の資質向上				
	雇用の通年化(人)	人	人		
	年間就労日数の拡大(日／人)	日/人	日/人		
	その他 (　)				
労働条件の改善	労働時間の短縮(時間/週)	時間/週	時間/週		
	週休2日制の定期化				
	休暇制度の改善				
	月給制の採用(人)	人	人		
	諸手当の改善				
	技能者の処遇改善				
	社会保険の加入拡大(人)	健康保険 人 厚生年金 人 労災保険 人 雇用保険 人	人 人 人 人		
	ハラスメント防止対策の徹底				
	その他 (　)				
募集・採用の改善	求人条件の明確化				
	合同求人説明会等への参加				
	若年者の雇用促進				
	雇用関係の明確化				
	その他 (　)				
教育訓練の充実	OJT研修の実施				
	OFF-JTの実施				
	その他 (　)				

項　目		現 状	目 標	改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
高年齢従事者の活躍促進	高年齢従事者の雇用の安定				
	高年齢従事者に配慮した雇用環境の整備				
	その他 (　)				
女性従事者等の活躍促進	出産・育児に配慮した取組				
	就業環境の改善				
	その他 (　)				
労働安全衛生の改善	労働安全衛生体制の充実				
	労働安全衛生機器の導入				
	健康保持対策の充実				
	リスクアセスメントの導入				
	危険な動物に関する注意喚起				
	緊急時の連絡体制の確保				
	その他 (　)				
その他	退職金共済の加入拡大(人)	人	人		
	福利厚生の充実				
	能力評価制度の導入				
	その他 (　)				

2 事業の合理化

項　目			改善措置の内容(具体的な取組内容)					
事業量の安定的確保	事業量		現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	素材生産(m³)	主伐	m³	m³	m³	m³	m³	m³
		間伐	m³	m³	m³	m³	m³	m³
		計	m³	m³	m³	m³	m³	m³
	造林(ha)	植付	ha	ha	ha	ha	ha	ha
		下刈	ha	ha	ha	ha	ha	ha
		その他						
		その他						
	上記以外の林業 (　)							

項　目			改善措置の内容(具体的な取組内容)					
生産性の向上	労働生産性		現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	素材生産(m³/人日)	主伐	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日
		間伐	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日
		計	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日
	造林(ha/人日)	植付	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日
		下刈	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日
		その他						
		その他						
	上記以外の林業 (　)							
	資本装備(台)		現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	プロセッサ							
	ハーベスタ							
	フェラーバンチャ							
	スキッダ							
	フォワーダ							
	グラップルソー							
	トラクタ類							
	ブルドーザ類							
	その他 (　)							

項　目		改善措置の内容(具体的な取組内容)					
林業従事者のキャリア形成支援							
		現状	目標				
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	林業作業士 (フォレストワーカー)						
	現場管理責任者 (フォレストリーダー)						
	統括現場管理責任者 (フォレストマネージャー)						
	森林作業道作設 オペレーター						
	森林施業 プランナー						
	森林経営 プランナー						
	技術士						
	1級林業技能士						
	2級林業技能士						
	3級林業技能士						
	その他技能士						
	林業技士						
	その他研修の受講 (　) (　)						
	各種技能資格取得 (　) (　)						

項　目		現 状	目 標	改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
その他	その他 (　)				
	その他 (　)				

Ⅳ 改善措置を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

1 資本金(出資金)の増資等

	現 状		目 標(5年後)	
資本金(出資金)		万円		万円

2 資本装備に必要な資金の額

	導入台数		金 額	
プロセッサ		台		万円
ハーベスタ		台		万円
フェラーバンチャ		台		万円
スキッダ		台		万円
フォワーダ		台		万円
グラップルソー		台		万円
トラクタ類		台		万円
ブルドーザ類		台		万円
その他(　)		台		万円

(留意事項)

導入台数は、Ⅲの2の生産性の向上の計画内容と整合すること。

3 改善措置を実施するために必要な資金の調達方法

		自己資金	市中資金	制度資金	補助金等	その他
雇用管理の改善	雇用の安定化					
	労働条件の改善					
	募集・採用の改善					
	教育訓練の充実					
	高年齢従事者の活躍推進					
	女性従事者等の活躍促進					
	労働安全衛生の改善					
	その他					
事業の合理化	事業量の安定的確保					
	生産性の向上					
	林業従事者の キャリア形成支援					
その他						

(留意事項)

Ⅲにおいて計画した改善措置について、該当する箇所に○を付ける。

様式3

雇用管理の改善及び事業の合理化措置計画認定申請書（共同）

年　月　日

北海道知事　様

住　　所:
名　　称:
代表者氏名:

次のとおり、改善措置計画の認定を申請します。

記

1 改善措置計画

実施期間	年　月1日　～　年　月　日				
構成員	名称	代表者名	住　所	電 話	雇用管理者の職・氏名
			〒		職 氏名
			〒		職 氏名
			〒		職 氏名
			〒		職 氏名
			〒		職 氏名

共同及び単独で取り組む改善措置（該当する項目に○又は△を付ける）	雇用管理の改善		事業の合理化	
		雇用の安定化		事業量の安定的確保
		労働条件の改善		生産性の向上
		募集・採用の改善		林業従事者のキャリア形成支援
		教育訓練の充実		そ　の　他
		高年齢従事者の活躍の推進		
		女性従事者等の活躍の促進		
		労働安全衛生の改善		
		そ　の　他		

共同で取り組む項目には ○
単独で取り組む項目には △　を付けてください。

計画書	別添様式4（共同）及び様式2（構成員個別）のとおり

2 その他添付資料

登記事項証明書の写し	別添のとおり（構成員個別）
納税証明書の写し	別添のとおり（構成員個別）
雇用に関する文書の写し	別添のとおり（構成員個別）
就業規則の写し	別添のとおり（構成員個別）
技術・技能を証する書類の写し （年間6ヶ月以上雇用の技能者に係るもの）	別添のとおり（構成員個別）

様式4

共同改善措置計画書

Ⅰ 構成員の概要

名　称									
営業内容※1									
営業組織※2									
設立年月日									
営業年数									
資本金 （出資金）									
北海道以外の 営業区域（都道府県名）									
林業従事者数※3		人		人		人		人		人
上記のうち 年間6ヶ月以上雇用		人		人		人		人		人

（留意事項）

※1 営業内容は、**素材生産業・造林業・山林種苗の生産・製材業・木材流通業・土木建築業・造園業・その他（ ）**
から該当するものすべてを記載すること。

※2 営業組織は、**株式会社・有限会社・その他の会社・森林組合・協同組合・その他の法人・個人・その他（ ）**
から該当するものを記載すること。

※3 林業従事者数は、林業（造林、保育、伐採、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等）の現場作業に従事する
雇用者の人数を記載すること。

登録・認定状況等※4	登録番号				
北海道林業事業体 登録制度					
その他					

（留意事項）

※4 登録・認定状況等には、業界団体等が実施している登録制度等の登録状況等を記載すること。

技能者の在籍状況（年間6ヶ月以上雇用者のみ記載）

フォレストリーダー （FL）		人		人		人		人		人
フォレストマネージャー （FM）		人		人		人		人		人
1級林業技能士		人		人		人		人		人
2級林業技能士		人		人		人		人		人
合計技能者数※5		人		人		人		人		人
在籍割合※6（自動計算）		%		%		%		%		%
技能者に係る 処遇改善措置の 実施内容 （実施済みの場合のみ記載）										

（留意事項）

※5 合計技能者数には、同一人物が複数の区分に該当する場合であっても、重複を除いた実人数を記載すること。

※6 在籍割合 ＝ 合計技能者数（FL・FM・（1級・2級）林業技能士の実人数）÷ 年間6ヶ月以上雇用の林業従事者数

Ⅱ 雇用管理及び事業の現状

【現状の課題・問題点】

（留意事項）

Ⅲの改善措置を取り組むこととした理由がわかるように記載すること。

Ⅲ 改善措置の目標、内容及び実施時期

1 雇用管理の改善

項　目		現　状	目　標	改善措置の内容（具体的な取組内容）	実施時期
雇用の安定化	雇用管理者の資質向上				
	雇用の通年化（人）	人	人		
	年間就労日数の拡大（日／人）	日/人	日/人		
	その他（　）				
労働条件の改善	労働時間の短縮	時間/週	時間/週		
	週休2日制の定期化				
	休暇制度の改善				
	月給制の採用（人）	人	人		
	諸手当の改善				
	技能者の処遇改善				
	社会保険の加入拡大（人）	健康保険 人 厚生年金 人 労災保険 人 雇用保険 人	人 人 人 人		
	ハラスメント防止対策の徹底				
	その他（　）				
募集・採用の改善	求人条件の明確化				
	合同求人説明会等への参加				
	若年者の雇用促進				
	雇用関係の明確化				
	その他（　）				
教育訓練の充実	OJT研修の実施				
	OFF-JTの実施				
	その他（　）				

項　目		現 状	目 標	改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
高年齢従事者の活躍促進	高年齢従事者の雇用の安定				
	高年齢従事者に配慮した雇用環境の整備				
	その他 (　)				
女性従事者等の活躍促進	出産・育児に配慮した取組				
	就業環境の改善				
	その他 (　)				
労働安全衛生の改善	労働安全衛生体制の充実				
	労働安全衛生機器の導入				
	健康保持対策の充実				
	リスクアセスメントの導入				
	危険な動物に関する注意喚起				
	緊急時の連絡体制の確保				
	その他 (　)				
その他	退職金共済の加入拡大(人)	人	人		
	福利厚生の充実				
	能力評価制度の導入				
	その他 (　)				

2 事業の合理化

項　目			改善措置の内容(具体的な取組内容)					
事業量の安定的確保	事業量		現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	素材生産(m³)	主伐	m³	m³	m³	m³	m³	m³
		間伐	m³	m³	m³	m³	m³	m³
		計	m³	m³	m³	m³	m³	m³
	造林(ha)	植付	ha	ha	ha	ha	ha	ha
		下刈	ha	ha	ha	ha	ha	ha
		その他						
		その他						
	上記以外の林業							
	( )							

項　目			改善措置の内容(具体的な取組内容)					
生産性の向上	労働生産性		現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	素材生産(m³/人日)	主伐	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日
		間伐	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日
		計	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日	m³/人日
	造林(ha/人日)	植付	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日
		下刈	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日	ha/人日
		その他						
		その他						
	上記以外の林業							
	( )							
	資本装備(台)		現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	プロセッサ							
	ハーベスタ							
	フェラーバンチャ							
	スキッダ							
	フォワーダ							
	グラップルソー							
	トラクタ類							
	ブルドーザ類							
	その他							
	( )							

項　目		改善措置の内容(具体的な取組内容)					
林業従事者のキャリア形成支援							
		現状	目標				
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	林業作業士 (フォレストワーカー)						
	現場管理責任者 (フォレストリーダー)						
	統括現場管理責任者 (フォレストマネージャー)						
	森林作業道作設 オペレーター						
	森林施業 プランナー						
	森林経営 プランナー						
	技術士						
	1級林業技能士						
	2級林業技能士						
	3級林業技能士						
	その他技能士						
	林業技士						
	その他研修の受講 (　) (　)						
	各種技能資格取得 (　) (　)						

項　目		現 状	目 標	改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
その他	その他 (　)				
	その他 (　)				

Ⅳ 改善措置を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

		自己資金	市中資金	制度資金	補助金等	その他
雇用管理の改善	雇用の安定化					
	労働条件の改善					
	募集・採用の改善					
	教育訓練の充実					
	高年齢従事者の活躍推進					
	女性従事者等の活躍促進					
	労働安全衛生の改善					
	その他					
事業の合理化	事業量の安定的確保					
	生産性の向上					
	林業従事者の キャリア形成支援					
その他						

（留意事項）

Ⅲにおいて計画した改善措置について、該当する箇所に〇を付ける。

Ⅴ （一社）北海道造林協会（森林整備担い手支援センター）が事業主の委託を受けて行う従事者の募集

1 募集従事者

役 職	
氏 名	

2 募集内容

賃 金	
労働時間・休日	
その他の募集内容	

様式7

改善措置計画変更認定申請書

年　月　日

北海道知事　様

住　　所:
名　　称:
代表者氏名:

認定番号	

　　年　　月　　日付けで認定を受けた改善措置計画について、次のとおり変更したいので、林業労働力の確保の促進に関する法律第6条第1項の規定により申請します。

記

1　変更事項の内容

2　変更の理由

※　添付資料
・変更後の内容を記載した様式2「改善措置計画書」
・共同改善措置計画の認定事業主は、変更後の内容を記載した様式4「共同改善措置計画書」
・年間6ヶ月以上雇用の技能者に係る、技術・技能を証する書類の写し（未提出分のみ）

様式8

改善措置計画変更届出書

年　月　日

北海道知事　様

住　　所:
名　　称:
代表者氏名:

認定番号	

　　年　　月　　日付けで認定を受けた改善措置計画について、次のとおり変更したいので、林業労働力の確保の促進に関する法律第6条第1項の規定により届け出ます。

記

1　変更事項の内容

2　変更の理由

※　添付資料

・年間6ヶ月以上雇用の技能者の在籍状況変更に伴う届出の場合は、技術・技能を証する書類の写し（未提出分のみ）

様式13

改善措置実施状況報告書

年　月　日

北海道知事　様

住　　所:
名　　称:
代表者氏名:

認定番号	

　　年　　月　　日付けで認定を受けた改善措置計画について、　年次(　　年　　月1日～　　年　　月　　日)の実施状況を次のとおり報告します。

記

1 事業体の現状

林業従事者数※1		人	(左記のうち、年間6ヶ月以上雇用)			人
技能者の在籍状況	フォレストリーダー(FL)		人 ・	フォレストマネージャー(FM)		人
	1級林業技能士		人 ・	2級林業技能士		人
	合計技能者数※2		**人**	**在籍割合**※3		**%** (自動計算)
技術・技能を証する書類の写し※4 (年間6ヶ月以上雇用の技能者に係るもの)	別添のとおり(未提出分のみ)					

(留意事項)

※1 林業従事者数は、林業(造林、保育、伐採、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等)の現場作業に従事する者の人数を記載すること。

※2 合計技能者数には、同一人物が複数の区分に該当する場合であっても、重複を除いた実人数を記載すること。

※3 在籍割合 = 合計技能者数(FL・FM・(1級・2級)林業技能士の実人数) ÷ 通年雇用・年間6ヶ月以上雇用の林業従事者

※4 技術・技能を証する書類の写しは、これまでに添付していないもののみ添付すること。

2 改善措置の実施状況

	項　目	報告年次の目標	改善措置の実施状況	今後の課題・問題点等
雇用管理の改善				
事業の合理化				

※ 改善措置計画において実施することとしていた改善措置の項目について具体的に記載すること。

様式14

改善措置実施結果報告書

年　月　日

北海道知事　様

住　　所:
名　　称:
代表者氏名:

認定番号	

年　　月　　日付けで認定を受けた改善措置の実施結果を次のとおり報告します。

記

項　目		実施した改善措置の内容
雇用管理の改善		
事業の合理化		

※　改善措置計画において実施することとしていた改善措置の項目について具体的に記載すること。

※　認定計画の実施期間中に取り組んだ、全ての改善措置の内容について記載すること。

様式1

雇用管理の改善及び事業の合理化措置計画認定申請書（記載例）

令和●●年●●月●●日

北海道知事　様

住　　所: ●●市●●区1条2丁目3−4
名　　称: 株式会社●●●●
代表者氏名: 代表取締役　●●　●●

次のとおり、改善措置計画の認定を申請します。

記

1 改善措置計画

実施期間	令和 8 年 4 月 1 日　～　令和13年 3 月 31 日			
計画の対象となる事業所	事業所の名称	住　所	電 話	雇用管理者の職・氏名
	株式会社●●●●	〒123-4567 ●●市●●区1条2丁目3−4	123-4567-8901	総務部長　●●●●
	▲▲事業所	〒234-5678 ▲▲郡▲▲町56	2345-67-8901	事業所長　▲▲▲▲
	■■事業所	〒345-6789 ■■郡■■町78	3446-78-9012	事業所長　■■■■
		〒		
		〒		

取り組む改善措置（該当する項目に○を付ける）	雇用管理の改善		事業の合理化	
	○	雇用の安定化	○	事業量の安定的確保
	○	労働条件の改善	○	生産性の向上
	○	募集・採用の改善	○	林業従事者のキャリア形成支援
	○	教育訓練の充実	○	そ　の　他
	○	高年齢従事者の活躍の推進		
	○	女性従事者等の活躍の促進		
	○	労働安全衛生の改善		
	○	そ　の　他		

計画書	別添様式2のとおり

2 組織の概要

営業内容（該当するものを○で囲む）	素材生産業 ・ 造林業 ・ 山林種苗の生産 ・ 製材業 ・ 木材流通業 土木建築業 ・ 造園業 ・ その他(　　)			
営業組織（該当するものを○で囲む）	株式会社 ・ 有限会社 ・ その他の会社 ・ 森林組合 ・ 協同組合 その他の法人 ・ 個人 ・ その他(　　)			
設立年月日	明・大・昭・平・令　60年 4月 1日 設立		営業年数	40年
資本金(出資金)	1,000 万円			
北海道以外の営業区域	(都道府県名)なし			
林業従事者数※1	31 人	(左記のうち、年間6ヶ月以上雇用)	21	人
登録・認定状況等※2	北海道林業事業体登録制度	登録番号: ●●-99-第999号		
	その他 (合法木材供給事業者　道木連第○○号)			
登記事項証明書の写し	別添のとおり			
納税証明書の写し	別添のとおり			

(留意事項)

※1 林業従事者数は、林業(造林、保育、伐採、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等)の現場作業に従事する雇用者の数を記載すること。

※2 登録・認定状況等には、業界団体等が実施する登録制度等の登録状況を記載すること。

3 その他添付資料

雇用に関する文書の写し	別添のとおり
就業規則の写し	別添のとおり
技術・技能を証する書類の写し（年間6ヶ月以上雇用の技能者に係るもの）	別添のとおり

様式2

改善措置計画書（記載例）

事業者名	株式会社●●●●

Ⅰ 林業従事者の確保の計画

区　分	現状※1 (a)	退職等の見込み※2 (b)		採用計画(下位区分からの異動を含む) 1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計(c)	5年後の姿 (a-b+c)
通年雇用	5	1			1		1	1	3	7
年間6ヶ月以上雇用	16	2	(1)	1	1				2	16
年間6ヶ月未満雇用	10	2	(2)						0	8
合　計	31	5	(3)	1	2		1	1	5	31

(留意事項)

※1 現状欄については、Ⅱの林業従事者数と整合すること。

※2 退職等の見込みについては、( )内に上位区分への異動者数を内数で記載すること。

Ⅱ 雇用管理及び事業の現状

林業施業の実績が1年未満に該当の有無※1	有 ・ (無) （どちらかに○）

事業期間(前会計年度)		令和7年 4月 ～ 令和8年 3月					
区分		林業 素材生産	林業 造林	林業 その他林業※2	林業関連※3	その他	計
現場作業従事者	通年雇用	5 人	0 人	人	人	人	人
	年間6ヶ月以上雇用	8 人	5 人	3 人	3 人	人	人
	年間6ヶ月未満雇用	0 人	5 人	5 人	人	人	人
計		13 人	10 人	8 人	3 人	人	人
事業量		主伐 ●●● m³ / 植付 ●●ha		カラマツ ●●●●●本 トドマツ ●●●●●本			
		間伐 ●●● m³ / 下刈 ●●ha					
		計 ●●●● m³ / その他					
売上高		●,●●●千円	●,●●●千円	●,●●●千円	千円	千円	千円

労働時間の定め	1日当たり	時間 ・ 1週当たり 40 時間 ・ 定めなし					
定休日の定め	完全週休2日制 ・ 変形週休2日制 ・ (週休1日制) ・ 不定期 ・ 定めなし						
技能者の在籍状況（年間6ヶ月以上雇用者のみ記載）	フォレストリーダー(FL)	2 人	・ フォレストマネージャー(FM)	5 人			
	1級林業技能士	4 人	・ 2級林業技能士	1 人			
	合計技能者数※4	8 人	＝ 在籍割合※5（自動計算）	38 %			
	年間6ヶ月以上雇用の林業従事者数(自動入力)	21 人					
技能者に係る処遇改善措置の実施内容（実施済みの場合のみ記載）	・資格の有無を能力評価項目の一つとして位置付けており、評価結果を昇級及び賞与に反映している。 ・技能者に対しては資格手当を支給するとともに、資格取得に要する受験料及び講習費用の補助を行っている。						
賃金契約の状況	月給制	3 人	・ 日給制	28 人	・ 出来高制	人	
	月給出来高併用	人	・ 日給出来高併用	人			
社会保険の加入状況	健康保険	21 人	・ 厚生年金	21 人	・ 労災保険	31 人	・ 雇用保険 28 人
退職金共済の状況	中退共	4 人	・ 林退共	19 人	・ 建退共	人	
	独自制度	人	・ 定めなし	人			
福利厚生の状況	社宅 ・ (休憩施設) ・ シャワー施設 ・ その他の福利厚生施設 慰安旅行 ・ 慶弔見舞金制度 ・ 被服貸与制度 ・ その他の福利厚生						

（留意事項）

※1 林業施業の実績が1年未満で共同申請を行う事業主は、前会計年度の実績の記載は不要とする。

※2 その他林業には、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等の現場作業について記載すること。

※3 林業関連には、特用林産物の生産、木材木製品製造業、土木業のうち治山、林道の施工、緑化・造園業、森林レクリエーションその他について記載すること。

※4 合計技能者数には、同一人物が複数の区分に該当する場合であっても、重複を除いた実人数を記載すること。

※5 在籍割合 ＝ 合計技能者数(FL・FM・(1級・2級)林業技能士の実人数) ÷ 年間6ヶ月以上雇用の林業従事者数

過去5年間の労働災害の発生件数（休業4日以上、死亡災害）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	0件	0件	0件	0件	0件

【現状の課題・問題点】

前計画では、3名の雇用の通年化を目標に掲げていたが、事業量を安定的に確保することができず、1名の通年化にとどまった。また、社会保険や退職金共済の完全実施もできていない状況にある。このため、今計画では、年間を通じて事業量を安定的に確保するために、生産コストを押さえ、新たな施業地を開拓することが課題となっている。労働者の高齢化が著しく、今後、退職による労働力不足が懸念されている。このため、若者の採用と育成が課題であり、若者に魅力ある職場に改善することが最重要と認識している。特に労働負荷を軽減し安全な職場を確保するために、高性能林業機械の導入と労働安全衛生の改善が必要となっている。

Ⅲ 改善措置の目標、内容及び実施時期

1 雇用管理の改善

項目		現状		目標		改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
雇用の安定化	雇用管理者の資質向上			セミナーへの参加		雇用管理者を選任し、支援センターの実施する雇用管理改善セミナーに参加させ、資質向上を図る。	1年次
	雇用の通年化(人)	5	人	7	人	新規参入定着支援事業などを活用しながら、若手作業インの通年雇用化を図る。	2, 4, 5年次
	年間就労日数の拡大(日/人)	200	日/人	220	日/人	造林と素材生産の組み合わせにより、年間を通じた事業を確保し、就労日数の拡大を図る。	1-5年次
	その他 (　)						
労働条件の改善	労働時間の短縮(時間/週)	40	時間/週	38	時間/週	毎月2週は週休二日制にし、労働時間の短縮を図る。	1-5年次
	週休2日制の定期化			週休二日制の導入		将来的な完全週休二日制の実施にむけ、段階的な実施として、変形週休二日制を取り入れる。	1-5年次
	休暇制度の改善			有給休暇の拡充		毎年雇用する定期雇用者に対し、毎雇用後6ヶ月を経過する間にも有給休暇を付与する。	1-5年次
	月給制の採用(人)	3	人	7	人	所得が安定するよう、通年雇用者に対し月給制を導入する。	2, 4, 5年次
	諸手当の改善					作業現場で作業の中心となり、若手作業員を指導する中堅従事者にリーダー手当を支給する。	3年次-
	技能者の処遇改善			昇級・賞与への反映		資格の有無を能力評価項目の一つとして位置付け、評価結果を昇級及び賞与に反映する。	3年次-
	社会保険の加入拡大(人)	健康保険 21 人 厚生年金 21 人 労災保険 31 人 雇用保険 28 人			31 人 31 人 31 人 31 人	法定福利の完全実施を図る。	1-5年次
	ハラスメント防止対策の徹底			規定の作成		ハラスメント防止規定を作成し、ハラスメント防止に対する従業員の意識向上を図る。	4年次-
	その他 (　)						
募集・採用の改善	求人条件の明確化			細かな労働条件の提示		労働者を募集する際には、細かな労働条件や福利厚生の内容なども明確にした上で行う。	4年次
	合同求人説明会等への参加			就業相談会への参加		札幌で開催される「森林の仕事ガイダンス」に参加し、就業希望者に対し自社のPRを行う。	3年次
	若年者の雇用促進			若年者の雇用		「緑の雇用」現場技能者育成事業を活用し、若年雇用を促進する。	2, 4年次
	雇用関係の明確化			雇用契約書取り交わし		採用する全雇用者と雇用契約書を取り交わし、雇用関係の明確化を図る。	1-5年次
	その他 (　)			自社HPの開設		自社のHPを作成し、自社をPRすることで、新規参入者を獲得する。	1年次
教育訓練の充実	OJT研修の実施			先輩作業員による指導		新たに雇用する作業員に対してOJT研修を実施し、林業の基本的な技術を習得させる。	2-4年次
	OFF-JTの実施			FW研修の参加		新たに雇用する作業員集合件風に参加させ、ドレスとワーカーの育成を図る。	2-4年次
	その他 (　)						

項　目		現　状	目　標	改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
高年齢従事者の活躍促進の	高年齢従事者の雇用の安定		継続雇用制度の導入	作業員が希望するときは、定年後も引き続いて65歳まで雇用を継続する。	1-5年次
	高年齢従事者に配慮した雇用環境の整備		勤務形態の充実	60歳以上の雇用者は、希望に応じ半日勤務が取得出来る勤務形態とする。	3年次
	その他 (　)				
女性従事者等の活躍促進の	出産・育児に配慮した取組		就業規則の改正	就業規則を一部改正し、産前・産後休暇及び育児休暇の取得制度を設ける。	5年次
	就業環境の改善		設備の導入	それぞれの現場にトイレを設置する。	2年次
	その他 (　)				
労働安全衛生の改善	労働安全衛生体制の充実		安全衛生再教育の徹底	安全衛生教育修了後5年を経過したチェーンソー使用者に対し、再教育を実施する。	2, 4年次
	労働安全衛生機器の導入		防護衣の着用徹底	チェーンソー等による「切れ・こすれ」事故の防止に有効な防護衣を導入し、該当作業員へ着用させる。	1-5年次
	健康保持対策の充実		振動障害の防止対策徹底	防振・防音保護具の使用を徹底するとともに、他の作業との組み合わせにより、操作時間の短縮を図る。	1-5年次
	リスクアセスメントの導入		リスクアセスメントの導入(見直し)	リスクアセスメント講習会を受講するとともに、林災防道支部の実践的な指導を受けながら導入を図る。	2年次
	危険な動物に関する注意喚起		蜂・ヒグマへの対策	全従業員にエピペン及び熊撃退スプレーを配布し、作業時に必ず携行させる。	1年次
	緊急時の連絡体制の確保		機器の導入	携帯電話の電波が届かない現場であっても、不足の事態があった場合に連絡をとれる機器を導入する。	3年次
	その他 (　)				
その他	退職金共済の加入拡大(人)	23 人　人	31 人　人	通年雇用の作業員は中退共に、その他の作業員は林退共に100%加入する。	1-5年次
	福利厚生の充実		シャワー室の設置	事務所隣接の休憩施設に、現場作業後の汗を流すためのシャワー室を設置する。	5年次
	能力評価制度の導入				
	その他 (　)				

2 事業の合理化

項　目			改善措置の内容(具体的な取組内容)					
事業量の安定的確保	事業量		森林所有者に対し低コストな施行プランを提案し、長期の施行受託契約を結ぶことで事業量を安定的に確保する(1-5年次)					
			現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	素材生産(m³)	主伐	●●● m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³
		間伐	5,000.0 m³	5,200.0 m³	5,400.0 m³	5,600.0 m³	5,800.0 m³	6,000.0 m³
		計	●●● m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³
	造林(ha)	植付	●●● ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha
		下刈	●●● ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha
		その他						
		その他						
	上記以外の林業		●●●●●本	■■■■■本	■■■■■本	■■■■■本	■■■■■本	■■■■■本
	( )							

項　目			改善措置の内容(具体的な取組内容)					
生産性の向上	労働生産性		常に作業システムの点検を行い、事業値の立地条件に適合した作業システムになるよう改善する。また、林業機械の開発・改良もあわせて実施し、生産性の向上を図る。(1-5年次)					
			現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	素材生産(m³/人日)	主伐	●●m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日
		間伐	●●m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日
		計	●●m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日
	造林(ha/人日)	植付	●●ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日
		下刈	●●ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日
		その他						
		その他						
	上記以外の林業		●●本/人日	■■本/人日	■■本/人日	■■本/人日	■■本/人日	■■本/人日
	( )							
	資本装備(台)		ハーベスタ及びフォワーダを各1台導入し、生産性の向上を図る。(2、4年次) ※ 現状と目標を計数で記載してください。 (例)ハーベスタ 現状 1台 → 4年次 2台 フォワーダ 現状 0台 → 2年次 1台					
			現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	プロセッサ		1					
	ハーベスタ		1				2	
	フェラーバンチャ							
	スキッダ							
	フォワーダ				1			
	グラップルソー		3					
	トラクタ類							
	ブルドーザ類		1					
	その他							
	( )							

項　目		改善措置の内容(具体的な取組内容)					
林業従事者のキャリア形成支援		新たに雇用する者にはフォレストワーカー研修を受講させ、必要な基礎的知識等を習得させる。作業現場において作業の中心となっている中堅・熟練労働者にはフォレストリーダー研修及びフォレストマネージャー研修を受講させ、キャリアアップを図る。 また、技能の段階的な向上を図るため、積極的に技能検定を受検させ、計画的に林業技能士を育成する。加えて、複数の作業に従事できる多能工化人材を育成するため、スマート林業の研修を受講する。(1-5年次)					
		現状	目標				
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	林業作業士 (フォレストワーカー)	3				4	
	現場管理責任者 (フォレストリーダー)	4	5		6		
	統括現場管理責任者 (フォレストマネージャー)	1					2
	森林作業道作設 オペレーター		2				
	森林施業 プランナー			1			
	森林経営 プランナー		1				
	技術士		1				
	1級林業技能士	2		3			
	2級林業技能士	5					6
	3級林業技能士	11		12		13	
	その他技能士						
	林業技士	1					
	その他研修の受講 (多能工化の推進) (　)	1			1		
	各種技能資格取得 (　) (　)						

項　目		現　状	目　標	改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
その他	その他 (経営体質の強化)		セミナーへの参加	経営改善につながるセミナーへ参加し、経営力の向上を図る。	
	その他 (　)				

Ⅳ 改善措置を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

1 資本金(出資金)の増資等

	現 状		目 標(5年後)	
資本金(出資金)	1,000	万円	1,500	万円

2 資本装備に必要な資金の額

	導入台数		金 額	
プロセッサ		台		万円
ハーベスタ	1	台	●●●●	万円
フェラーバンチャ		台		万円
スキッダ		台		万円
フォワーダ	1	台	●●●●	万円
グラップルソー		台		万円
トラクタ類		台		万円
ブルドーザ類		台		万円
その他(　)		台		万円

(留意事項)
導入台数は、Ⅲの2の生産性の向上の計画内容と整合すること。

3 改善措置を実施するために必要な資金の調達方法

		自己資金	市中資金	制度資金	補助金等	その他
雇用管理の改善	雇用の安定化					
	労働条件の改善					
	募集・採用の改善					
	教育訓練の充実					
	高年齢従事者の活躍推進					
	女性従事者等の活躍促進					
	労働安全衛生の改善					
	その他					
事業の合理化	事業量の安定的確保					
	生産性の向上					
	林業従事者の キャリア形成支援					
その他						

(留意事項)
Ⅲにおいて計画した改善措置について、該当する箇所に○を付ける。

様式3

雇用管理の改善及び事業の合理化措置計画認定申請書（共同）（記載例）

令和●●年●●月●●日

北海道知事　様

住　　所: ●●市●●区1条2丁目3−4
名　　称: 株式会社●●●●
代表者氏名: 代表取締役　●●　●●

次のとおり、改善措置計画の認定を申請します。

記

1　改善措置計画

実施期間	令和 8 年 4 月 1 日　～　令和13年 3 月 31 日				
構成員	名称	代表者名	住所	電話	雇用管理者の職・氏名
	株式会社●●●●	代表取締役　●●●●	〒123−4567 ●●市●●区1条2丁目3−4	123−4567−8901	職　総務部長 氏名　●●●●
	■■■■株式会社	代表取締役　■■■■	〒890−1234 ■■市■■区5条6丁目7−8	2345−67−8901	職　総務部長 氏名　■■■■
	有限会社▲▲▲▲	代表取締役　▲▲▲▲	〒567−8901 ▲▲市▲▲区9条1丁目2−3	3456−78−9012	職　総務部長 氏名　▲▲▲▲
			〒		職 氏名
			〒		職 氏名

取り組む改善措置（該当する項目に○又は△を付ける）	雇用管理の改善		事業の合理化	
	○	雇用の安定化	○	事業量の安定的確保
		労働条件の改善	△	生産性の向上
	△	募集・採用の改善	○	林業従事者のキャリア形成支援
		教育訓練の充実		そ　の　他
	○	高年齢従事者の活躍の推進		
	○	女性従事者等の活躍の促進		
		労働安全衛生の改善		
		そ　の　他		

共同で取り組む項目には ○
単独で取り組む項目には △ を付けてください。

計画書	別添様式4（共同）及び様式2（構成員個別）のとおり

2　その他添付資料

登記事項証明書の写し	別添のとおり（構成員個別）
納税証明書の写し	別添のとおり（構成員個別）
雇用に関する文書の写し	別添のとおり（構成員個別）
就業規則の写し	別添のとおり（構成員個別）
技術・技能を証する書類の写し （年間6ヶ月以上雇用の技能者に係るもの）	別添のとおり（構成員個別）

様式4

共同改善措置計画書（記載例）

Ⅰ 構成員の概要

名　称	株式会社●●●●	■■■■株式会社	有限会社▲▲▲▲		
営業内容※1	素材生産業	造林業	素材生産業 土木建築業		
営業組織※2	株式会社	株式会社	有限会社		
設立年月日	●●年●●月●●日	■■年■■月■■日	▲▲年▲▲月▲▲日		
営業年数	●●年	■■年	▲▲年		
資本金 （出資金）	●●万円	■■万円	▲▲万円		
北海道以外の 営業区域（都道府県名）	●●県	なし	なし		
林業従事者数※3	4 人	■■ 人	▲▲ 人	人	人
上記のうち 年間6ヶ月以上雇用	3 人	■ 人	▲ 人	人	人

（留意事項）

※1 営業内容は、**素材生産業・造林業・山林種苗の生産・製材業・木材流通業・土木建築業・造園業・その他（ ）**から該当するものすべてを記載すること。

※2 営業組織は、**株式会社・有限会社・その他の会社・森林組合・協同組合・その他の法人・個人・その他（ ）**から該当するものを記載すること。

※3 林業従事者数は、林業（造林、保育、伐採、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等）の現場作業に従事する雇用者の人数を記載すること。

登録・認定状況等※4		登録番号			
北海道林業事業体 登録制度	●●-99-第●●●号		▲▲-99-第▲▲▲号		
その他	合法木材供給事業者 道木連第●●号				

（留意事項）

※4 登録・認定状況等には、業界団体等が実施している登録制度等の登録状況等を記載すること。

技能者の在籍状況（年間6ヶ月以上雇用者のみ記載）

フォレストリーダー（FL）	人	人	人	人	人
フォレストマネージャー（FM）	人	人	人	人	人
1級林業技能士	人	人	▲ 人	人	人
2級林業技能士	1 人	人	▲ 人	人	人
合計技能者数※5	1 人	人	▲ 人	人	人
在籍割合※6（自動計算）	33%	%	▲▲%	%	%
技能者に係る 処遇改善措置の 実施内容 （実施済みの場合のみ記載）	・資格の有無を能力評価項目の一つとして位置付けており、評価結果を昇級及び賞与に反映している		技能者に対しては資格手当を支給するとともに、資格取得に要する受験料及び講習費用の補助を行っている。		

（留意事項）

※5 合計技能者数には、同一人物が複数の区分に該当する場合であっても、重複を除いた実人数を記載すること。

※6 在籍割合 ＝ 合計技能者数（FL・FM・（1級・2級）林業技能士の実人数）÷ 年間6ヶ月以上雇用の林業従事者数

Ⅱ 雇用管理及び事業の現状

【現状の課題・問題点】

■■■■(株)の営業内容は造林業であるため、冬期間の事業量の確保が困難であり、労働者の通年雇用ができない状況にある。このため、素材生産業へ進出し冬期間の事業を確保することが課題となっているが、高性能林業機械等の初期投資が多大であることや素材生産事業における安全対策が欠落していることなどから、素材生産業者との事業の共同実施や安全衛生対策の充実が必要となっている。

一方、(株)●●●●及び(有)▲▲▲▲においては、高齢労働者の退職に伴い、慢性的な労働力不足が深刻化しており、既労働者の雇用の安定化と若年者の雇用の促進、さらに生産性の向上が課題となっている。このため、事業体の経営基盤を強化するために事業量の安定的確保が必要不可欠となっており、共通した課題を解消していくために共同で改善措置に取り組んでいくことが必要だと考えている。

(留意事項)

Ⅲの改善措置を取り組むこととした理由がわかるように記載すること。

Ⅲ 改善措置の目標、内容及び実施時期

1 雇用管理の改善

項目		現状		目標		改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
雇用の安定化	雇用管理者の資質向上			勉強会の開催		各社の雇用管理者が集まり、雇用管理上の課題等を話し合い、その解決策を見いだす。	1-5年次
	雇用の通年化(人)	3	人	8	人	協業により、年間を通した事業量を確保し通年化を図る。	3年次-
	年間就労日数の拡大(日/人)		日/人		日/人		
	その他( )						
労働条件の改善	労働時間の短縮		時間/週		時間/週		
	週休2日制の定期化						
	休暇制度の改善						
	月給制の採用(人)		人		人		
	諸手当の改善						
	技能者の処遇改善						
	社会保険の加入拡大(人)	健康保険 人 厚生年金 人 労災保険 人 雇用保険 人			人 人 人 人		
	ハラスメント防止対策の徹底						
	その他( )						
募集・採用の改善	求人条件の明確化						
	合同求人説明会等への参加			合同求人説明会の開催		合同求人説明会を開催し、若年者の雇用を促進する。	2, 4年次
	若年者の雇用促進						
	雇用関係の明確化						
	その他( )						
教育訓練の充実	OJT研修の実施						
	OFF-JTの実施						
	その他( )						

項　目		現 状	目 標	改善措置の内容(具体的な取組内容)	実施時期
高年齢従事者の活躍促進	高年齢従事者の雇用の安定				
	高年齢従事者に配慮した雇用環境の整備				
	その他 (　)				
女性従事者等の活躍促進	出産・育児に配慮した取組				
	就業環境の改善				
	その他 (　)				
労働安全衛生の改善	労働安全衛生体制の充実		共同安全衛生委員会の設置	共同で安全衛生に関する委員会を設け、過去のデータや情報を共有し、定期的に意見交換を行う。	1-5年次
	労働安全衛生機器の導入				
	健康保持対策の充実				
	リスクアセスメントの導入				
	危険な動物に関する注意喚起				
	緊急時の連絡体制の確保				
	その他 (　)				
その他	退職金共済の加入拡大(人)	人	人		
	福利厚生の充実				
	能力評価制度の導入				
	その他 (　)				

2 事業の合理化

項　目			改善措置の内容(具体的な取組内容)					
事業量の安定的確保	事業量		協業化により、国有林等の受注機会を増やし、事業量を安定的に確保する。また、事業の広域化を進め事業量を確保する。(1-5年次)					
			現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	素材生産(m³)	主伐	●●● m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³
		間伐	5,000.0 m³	5,200.0 m³	5,400.0 m³	5,600.0 m³	5,800.0 m³	6,000.0 m³
		計	●●● m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³	■■■ m³
	造林(ha)	植付	●●● ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha
		下刈	●●● ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha	■■■ ha
		その他						
		その他						
	上記以外の林業 (　)							

項　目			改善措置の内容(具体的な取組内容)					
生産性の向上	労働生産性							
			現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	素材生産(m³/人日)	主伐	●●m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日
		間伐	●●m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日
		計	●●m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日	■■m³/人日
	造林(ha/人日)	植付	●●ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日
		下刈	●●ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日	■■ha/人日
		その他						
		その他						
	上記以外の林業 (　)							
	資本装備(台)							
			現状	目標				
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	プロセッサ		1					
	ハーベスタ		1				2	
	フェラーバンチャ							
	スキッダ							
	フォワーダ				1			
	グラップルソー		3					
	トラクタ類							
	ブルドーザ類		1					
	その他 (　)							

項　目		改善措置の内容（具体的な取組内容）					
林業従事者のキャリア形成支援		共同で有資格者による社内研修を行うとともに、積極的に技能検定を受検させ、中核人材の育成を図る。（1－5年次）					
		現状	目標				
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
	林業作業士 （フォレストワーカー）						
	現場管理責任者 （フォレストリーダー）	3					
	統括現場管理責任者 （フォレストマネージャー）						
	森林作業道作設 オペレーター						
	森林施業 プランナー						
	森林経営 プランナー						
	技術士						
	1級林業技能士	3					4
	2級林業技能士	7			9		
	3級林業技能士	8		10		12	
	その他技能士						
	林業技士	2		3		4	5
	その他研修の受講 （　） （　）						
	各種技能資格取得 （　） （　）						

項　目		現　状	目　標	改善措置の内容（具体的な取組内容）	実施時期
その他	その他 （　）				
	その他 （　）				

Ⅳ 改善措置を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

		自己資金	市中資金	制度資金	補助金等	その他
雇用管理の改善	雇用の安定化	○				
	労働条件の改善					
	募集・採用の改善	○				
	教育訓練の充実					
	高年齢従事者の活躍推進					
	女性従事者等の活躍促進					
	労働安全衛生の改善	○				
	その他					
事業の合理化	事業量の安定的確保	○				
	生産性の向上		○			
	林業従事者の キャリア形成支援	○			○	
その他						

（留意事項）
Ⅲにおいて計画した改善措置について、該当する箇所に○を付ける。

Ⅴ （一社）北海道造林協会（森林整備担い手支援センター）が事業主の委託を受けて行う従事者の募集

1 募集従事者

役 職	森林整備担い手支援センター参事
氏 名	●● ●●

2 募集内容

賃 金	月給制 250,000円
労働時間・休日	7:00-16:30（休憩90分） 週休二日制
その他の募集内容	職務内容：地拵え、植え付け、下刈り、除伐などの造林作業 勤務地域：網走管内一円 加入保険：労災保険、雇用保険、健康保険、厚生年金 必要資格：普通自動車免許 その他：林退共、入居加入住宅あり

様式7

改善措置計画変更認定申請書（記載例）

令和●●年●●月●●日

北海道知事　様

住　　所：●●市●●区1条2丁目3−4
名　　称：株式会社●●●●
代表者氏名：代表取締役　●●　●●

認定番号	●・●・単-●●

令和●●年●●月●●日付けで認定を受けた改善措置計画について、次のとおり変更したいので、林業労働力の確保の促進に関する法律第6条第1項の規定により申請します。

記

1　変更事項の内容

技能者の在籍状況及び処遇改善措置に関する事項を計画に追加する。
（詳細は別添様式2のとおり）

2　変更の理由

技能者増のため。

※　添付資料

・変更後の内容を記載した様式2「改善措置計画書」
・共同改善措置計画の認定事業主は、変更後の内容を記載した様式4「共同改善措置計画書」
・年間6ヶ月以上雇用の技能者に係る、技術・技能を証する書類の写し（未提出分のみ）

様式8

改善措置計画変更届出書（記載例）

令和●●年●●月●●日

北海道知事　様

住　　所：●●市●●区1条2丁目3−4
名　　称：株式会社●●●●
代表者氏名：代表取締役　●●　●●

認定番号	●・●・単-●●

令和●●年●●月●●日付けで認定を受けた改善措置計画について、次のとおり変更したいので、林業労働力の確保の促進に関する法律第6条第1項の規定により届け出ます。

記

1　変更事項の内容

(1)住所の変更
●●市●●区1条2丁目3－4　→　●●市■■区5条6丁目7－8
(2)代表者及び雇用管理者の変更
代表者氏名：代表取締役　■■■■　→　代表取締役　●●●●
雇用管理者：総務部長　■■■■　→　総務部長　●●●●
(3)労働安全衛生の改善の項目で、安全衛生機器の導入に取り組む。内容等は次のとおり。
ア　目　　標：蜂刺されに有効な自己注射器の携帯
イ　取組内容：作業員全員にエピペン及び熊撃退スプレーを携行させる。
ウ　実施時期：3年次～

2　変更の理由

(1)事務所移転のため。
(2)株主総会及び人事異動による変更のため。
(3)危険動物に対する作業員の安全を確保するため。

※　添付資料
・年間6ヶ月以上雇用の技能者の在籍状況変更に伴う届出の場合は、技術・技能を証する書類の写し（未提出分のみ）

様式13

改善措置実施状況報告書（記載例）

令和●●年●●月●●日

北海道知事　様

住　　所: ●●市●●区1条2丁目3−4
名　　称: 株式会社●●●●
代表者氏名: 代表取締役　●●　●●

認定番号	●・●・単-●●

令和●年●月●日付けで認定を受けた改善措置計画について、 2年次(令和■年■月1日～ 令和▲年▲月▲日)の実施状況を次のとおり報告します。

記

1 事業体の現状

林業従事者数※1	31	人			（ 左記のうち、年間6ヶ月以上雇用 ）	21	人
技能者の在籍状況	フォレストリーダー(FL)	4	人	・	フォレストマネージャー(FM)	1	人
	1級林業技能士	2	人	・	2級林業技能士	5	人
	合計技能者数※2	8	**人**		**在籍割合※3**	38	% （自動計算）
技術・技能を証する書類の写し※4（年間6ヶ月以上雇用の技能者に係るもの）	別添のとおり(未提出分のみ)						

（留意事項）

※1　林業従事者数は、林業(造林、保育、伐採、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等)の現場作業に従事する者の人数を記載すること。

※2　合計技能者数には、同一人物が複数の区分に該当する場合であっても、重複を除いた実人数を記載すること。

※3　在籍割合 ＝ 合計技能者数(FL・FM・(1級・2級)林業技能士の実人数) ÷ 通年雇用・年間6ヶ月以上雇用の林業従事者

※4　技術・技能を証する書類の写しは、これまでに添付していないもののみ添付すること。

2 改善措置の実施状況

	項　目	報告年次の目標	改善措置の実施状況	今後の課題・問題点等
雇用管理の改善	雇用の安定化	雇用の通年化　5→7名	2年次目は、計画1名に対し、2名の通年化を図り、最終目標の7名を達成した。	通年雇用を維持するために、今後茂庵手的に事業量を確保していくことが必要。
	労働条件の改善	労働時間の短縮　40→38時間/週	2名の退職で労働力が不足したため、動労時間の短縮を実施出来なかった。	早期に労働者を確保し、育成することが必要。
	募集・採用の改善	若年者の雇用	「緑の雇用」により若年者1名を雇用した。	着実に技術が身につけられるよう、計画に沿って研修を進められるような取組が必要。
	教育訓練の充実	FW集合研修　参加	2年次に雇用した1名をFW集合研修に参加させた。	着実に技術が身につけられるよう、計画に沿って研修を進められるよう取り組む。
	教育訓練の充実	OJT研修実施	2年次に雇用した1名に対し、OJT研修を実施した。	着実に技術が身につけられるよう、計画に沿って研修を進められるよう取り組む。
	女性従事者等の活躍の促進	設備の導入	各現場に設置できるトイレを導入した。	各現場での運用を継続し、誰もが働きやすい職場環境のさらなる改善を進める。
	労働安全衛生の改善	リスクアセスメントの導入	リスクアセスメント講習会を受講し、作業現場において試行的に取り組んだ。	本格的な取組にむけ、作業員全員に異議や手法について周知することが必要。
事業の合理化	事業量の安定的確保	素材生産(間伐)　●●→■■m³	複数の森林所有者と長期の施行委託契約を結ぶことができ、間伐は目標値の水準を達成した（▲▲m³）	今後も安定的に事業量を確保していくために、新たな施行地を開拓していくことが必要。
	生産性の向上	フォワーダ1台導入	計画通り1台のフォワーダを導入した。	導入した機械の稼働率を上げ、さらに生産性の向上を図ることが必要。
	林業労働者のキャリア形成支援	多能工化の推進　0→1名	計画通り1名がドローンによる苗木運搬の研修を受講した。	受講対象者が計画した年次に受講できるよう、今後も計画的な人員配置に努めることが必要。

※　改善措置計画において実施することとしていた改善措置の項目について具体的に記載すること。

様式14

改善措置実施結果報告書（記載例）

令和●●年●●月●●日

北海道知事　様

住　　所：●●市●●区1条2丁目3−4
名　　称：株式会社●●●●
代表者氏名：代表取締役　●●　●●

認定番号	●・●・単-●●

令和●年●月●日付けで認定を受けた改善措置計画の実施結果を次のとおり報告します。

項　目		実施した改善措置の内容
雇用管理の改善	雇用の安定化	雇用管理の資質向上 雇用管理改善セミナーに参加し、雇用管理者の資質向上を図った。
		雇用の通年化 新規参入定着支援事業などを活用し、目標の7名を達成した。
		年間就労日数の拡大 複数事業の組み合わせにより、目標の220日/人を達成した。
	労働条件の改善	労働時間の短縮・週休二日制の定期化 将来の完全週休二日制の導入に向け、毎月2週の週休二日制を目指したが、繁忙期には実施出来なかったため、取組を継続する。
		休暇制度の改善 毎年雇用する定期雇用者に対し、毎雇用後6ヶ月を経過する前にも有給休暇を付与した。
		月給制の採用 通年雇用者に対し、月給制を導入した。
		諸手当の改善 作業現場で作業の中心となり、若手作業員を指導する中堅従事者にリーダー手当を支給した。
		諸手当の改善 作業現場で作業の中心となり、若手作業員を指導する中堅従事者にリーダー手当を支給した。
		社会保険の加入拡大 全ての雇用者が社会保険に加入した。
		ハラスメント防止対策の徹底 ハラスメント防止規定を策定し、雇用者の意識向上を図った。
	募集・採用の改善	求人条件の明確化 労働条件や福利厚生など、細かな点まで開示して、求人を行った。
		合同求人説明会等への参加 各種就業相談会に参加し、就業希望者に対し、自社のPRを行った。
		若年者の雇用促進 「緑の雇用」事業を活用し、若年者雇用を促進した。
		雇用関係の明確化 採用する全雇用者と雇用契約書を取り交わした。
		その他 自社HPを開設し、自社のPRを行った。
	教育訓練の充実	OJT研修の実施 先輩社員が新たに就業した社員を指導するメンター制度を導入し、林業基礎知識をスムーズに習得できるよう努めた。
		OFF-JT研修の実施 「緑の雇用」事業を活用し、集合研修に参加させフォレストワーカー育成を図った。

項　目		実施した改善措置の内容
雇用管理の改善	高年齢従事者の活躍の促進	高年齢従事者の雇用の安定 希望した作業員を、定年後も引き続き65歳まで雇用を継続した。
		勤務形態の充実 60歳以上の雇用者は、希望に応じ半日勤務が出来る勤務形態とし、各人の体力等に応じ柔軟に勤務することが可能な体制を整えた。
	女性従事者等の活躍の促進	出産・育児に配慮した取組 就業規則を一部改正し、産前・産後休暇及び育児休暇の取得制度を設けた。
		就業環境の改善 各現場にトイレ及び更衣室を設置し、誰もが働きやすい労働環境の構築を図った。
	労働安全衛生の改善	労働安全衛生体制の充実 安全衛生教育修了後5年を経過したチェーンソー使用者に対し、再教育を実施した。
		労働安全衛生機器の導入 新たな防護衣を全雇用者に配布した。
		健康保持対策の充実 防振・防音保護具の使用を徹底するとともに、他の作業との組み合わせにより操作時間の短縮を図った。
		リスクアセスメントの導入 リスクアセスメント講習会を受講するとともに、林災防道支部の実践的な指導を受けた。
		危険な動物に関する注意喚起 全従業員にエピペン及び熊撃退スプレーを配布し、作業時に必ず携行させた。
		緊急時の連絡体制の確保 携帯電話の電波が届かない現場であっても、不足の事態があった場合に、連絡が取れる機器を導入した。
	その他	退職金共済の加入拡大 通年雇用の作業員は中退共に、その他の作業員は林退共に100%加入した。
		能力評価制度の導入 能力評価システムを参考に、能力評価制度を導入し、働く意欲の向上を図った。
事業の合理化	事業量の安定的確保	複数の森林所有者と長期の施行委託契約を結び、事業量を安定的に確保した。 当初●●m³・目標■■m³・結果▲▲m³
	生産性の向上	労働生産性 事業値の立地条件に適合した作業システムになるよう改善し、生産性が向上した。 当初●●m³/人日・目標■■m³/人日・結果▲▲m³/人日
		資本整備 ハーベスタとフォワーダを各1台導入し、生産性の向上を図った。
	林業労働者の キャリア形成支援	計画通り、各種研修を受講するとともに、資格を取得した。
	その他	経営体質の強化 経営改善に繋がるセミナーへ参加し、経営力の向上を図った。

※ 改善措置計画において実施することとしていた改善措置の項目について具体的に記載すること。

※ 認定計画の実施期間中に取り組んだ、全ての改善措置の内容について記載すること。